

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2721 号

A modified GnRH antagonist method in combination with letrozole, cabergoline, and GnRH antagonist for PCOS: Safe and effective ovarian stimulation to treat PCOS and prevent OHSS

多嚢胞性卵巣症候群に対してレトロゾール、カベルゴリン、GnRH アンタゴニストを併用し、卵巣過剰刺激症候群を予防でき効果的な改良型 GnRH アンタゴニスト法

柳原 康穂 (やなぎはら やすほ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

多嚢胞性卵巣症候群 (PCO) 患者では生殖補助医療 (ART) により卵巣過剰刺激症候群 (OHSS) を発症しやすく、また卵子の質が低いことが問題となる。改良型多嚢胞性卵巣症候群 (COH) はレトロゾール、カベルゴリン、GnRH アンタゴニストを組み合わせることで卵子の質を保ち、OHSS 発症に関与する血清 E2、VEGF 高値を改善させることを目的とした刺激法である。そこで申請者は改良型 COH の有用性を示すために、PCOS 患者に対して改良型 COH を含んだ異なる 4 つの COH (A 群; ロングプロトコール, B 群; GnRH アンタゴニスト法 HCG トリガー, C 群; GnRH アンタゴニスト法 GnRH アゴニストトリガー, 改良型 COH 群) で治療をおこなった患者を、OHSS 発症率や臨床成績について後方視的に解析したコホート研究を行っている。PCOS 患者 175 例中、改良型 COH で治療された 45 例で採卵 47 周期、胚移植 75 周期、従来法で治療された 130 例が採卵 136 周期、胚移植 250 周期が実施された。結果として採卵 1 回あたりの累積妊娠率は、改良型 COH 群では A 群より有意に高く、B 群、C 群より高い傾向にあった (A 群、B 群、C 群、改良型 COH 群。それぞれ 40.0%、54.5%、56.3%、72.3%)。また OHSS 発症は改良型 COH 群では認めなかった (A 群、B 群、C 群、改良型 COH 群。それぞれ 80%、50%、21.9%、0%)。本論文は、ART における PCOS に対する COH として GnRH アンタゴニスト法を基としたレトロゾール・カベルゴリン・GnRH アンタゴニストを組み合わせた改良型 COH の有用性を初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。